

好生館跡地コンテンツ

実施計画案

(リハビリテーション学科・作業療法学専攻)

1. 講座名（コンテンツ名称）

大学教員が教える認知症サポーター養成講座

2. 内容：

作業療法学専攻教員（上城・小浦・小松・藤原・伊藤・吉野）による、厚生労働省が薦める認知症サポーター養成講座。認知症サポーターとは、「認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族の人に 対してできる範囲で手助けする役割を持つ」。講師役であるキャラバン・メイトとあわせると平成 27 年 12 月末には約 713 万人である。認知症サポーターを養成することは、認知症に関する普及啓発を通じて 社会全体で認知症が身近な病気であることを確認するとともに、認知症サポーターの地域での見守り活動への参加などにより、認知症高齢者等にやさしい地域づくりを加速することにつながるものと考えられる。修了者にはオレンジリングを授与する。

研修内容：認知症の基礎知識（認知症とは何か、認知症の症状とは）、

早期診断・治療の重要性、権利擁護等、

認知症の人への対応、家族の支援、

3. 実施回数：

1回90分

4. 対象：

高校生、一般住民、本学学生、県庁職員、市職員 など

5. 実施日：

4月以降、2ヶ月に1回実施する。年間を通して6回実施する。

6. その他：

本講座は、佐賀県や佐賀市とのタイアップが必要である。

講師のなる教員は、認知症キャラバンメイトの養成講座を受講する必要がある。